

静岡県の日本紅斑熱症例と 媒介マダニの分布について

環境衛生科学研究所

○池ヶ谷朝香 原稔美 酒井悠希子 阿部冬樹 佐原啓二

日本紅斑熱 (Japanese Spotted fever)

病原体を保有する
マダニに刺される

病原体: *Rickettsia japonica*

2~8日

発症

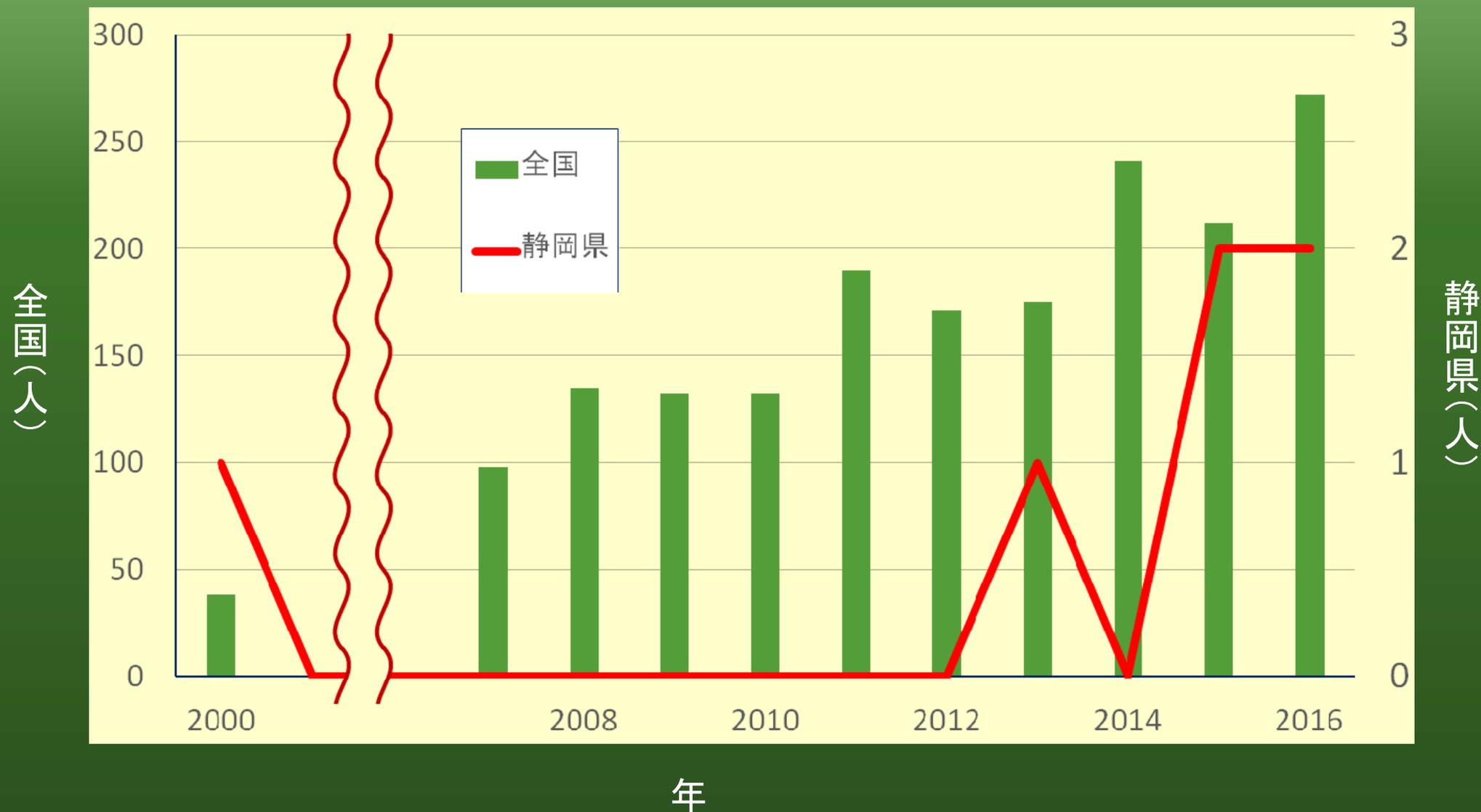
- ・発熱
- ・発疹(手足に強く出現)
- ・刺し口(つつが虫病より小さい)
- ・頭痛
- ・倦怠感
- ・肝・腎機能障害
- ・白血球・血小板減少
- ・CRP上昇

死亡

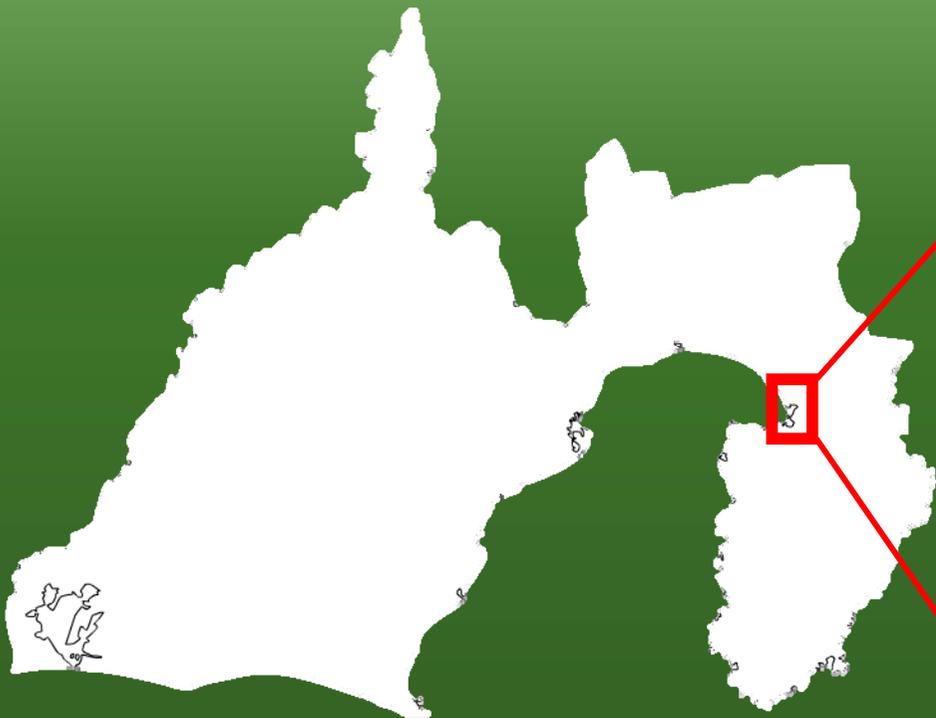
早期の適正な
治療で治癒

治療法: テトラサイクリン系抗生物質
(ニューキノロン薬との併用)

日本紅斑熱の発生状況



静岡県日本紅斑熱患者(5人)の 推定感染場所



(2000年～2016年5月まで)

国土地理院航空写真より抜粋

発生月: 5～9月

静岡県で採取されたマダニ

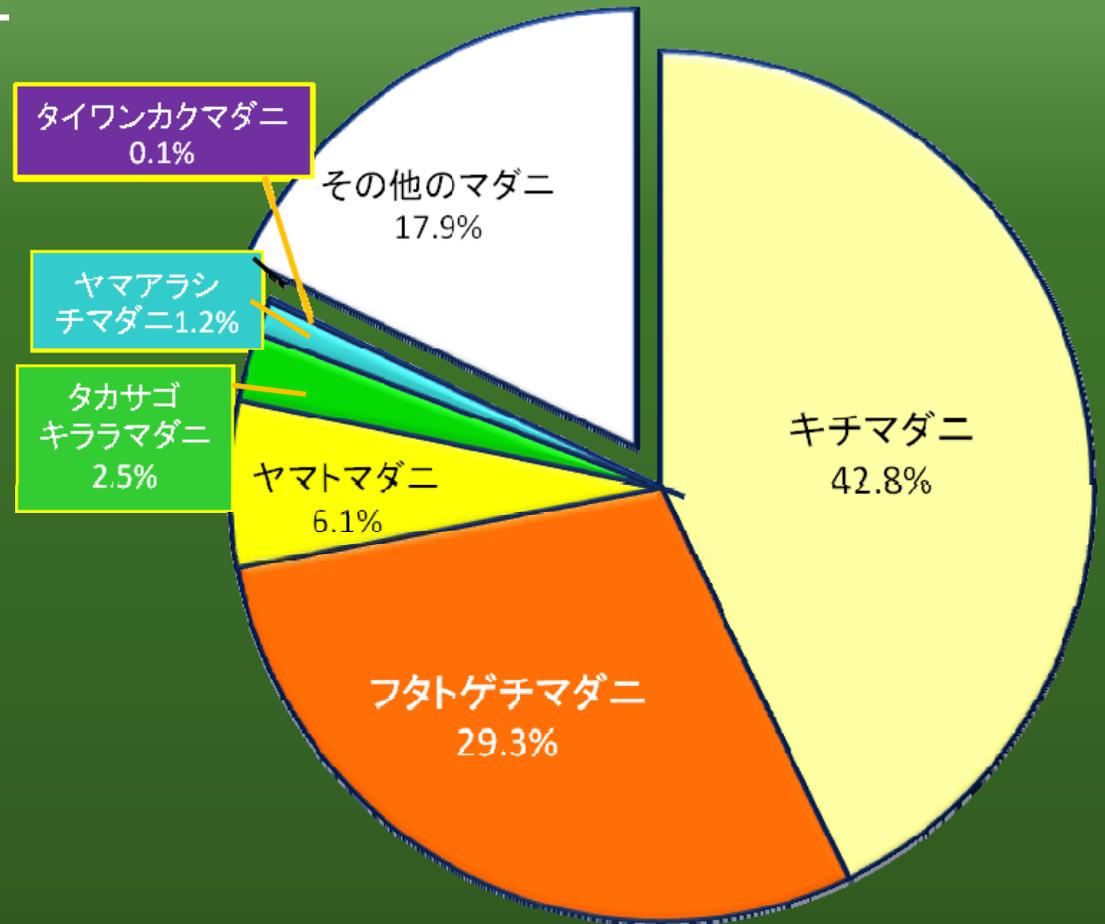
- 採取期間：2008～2015年
- 採取地点：216地点
- 採取方法：旗ふり法

採取結果

4属14種

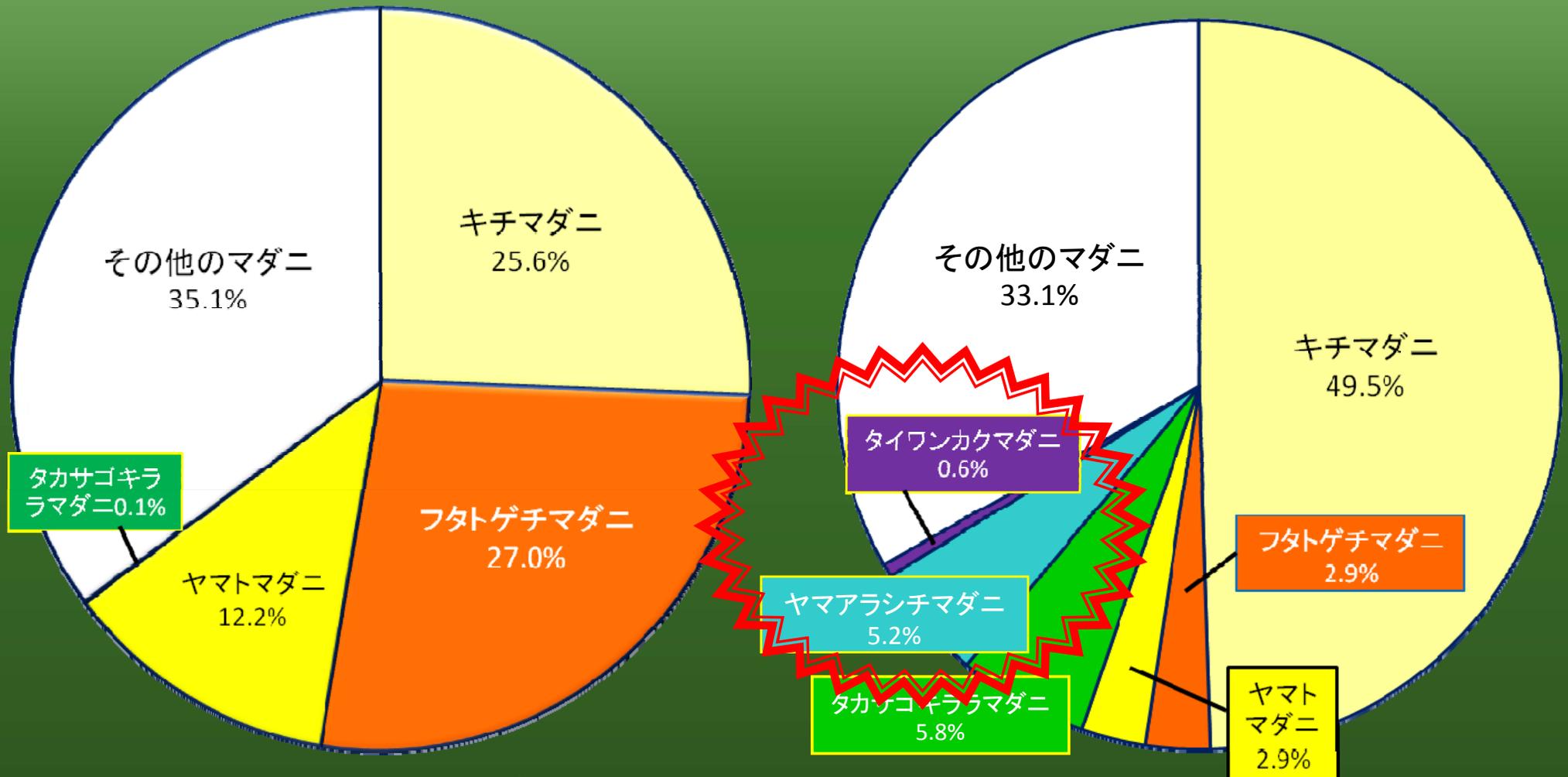
9,494匹

(*R. japonica*検出報告
のある種類
6種 7,792匹)



静岡県で採取された*R. japonica*の
検出報告のある種類のマダニの割合

東部地域で採取されたマダニ



東部地域(沼津アルプスを除く)のマダニ採取状況

沼津アルプス近辺のマダニ採取状況

ヤマアラシチマダニおよび台湾カクマダニ 採取地点



ヤマアラシチマダニ



台湾カクマダニ

★ ヤマアラシチマダニ採取地点

★ ヤマアラシチマダニおよび
台湾カクマダニ採取地点



静岡県における日本紅斑熱患者

No	推定 感染年月	推定 感染地域	性別	年齢	受診までの 病日
1	2000.9	沼津市	男	60歳代	5日
2	2013.7	伊豆の国市	女	60歳代	1日
3	2015.6	沼津市	女	70歳代	7日
4	2015.8	伊豆の国市	男	60歳代	不明
5	2016.5	沼津市	女	70歳代	7日
6	2016.11	伊東市	女	70歳代	4日

まとめ

- 日本紅斑熱患者は増加傾向にある
- 同じ地域で再発を繰り返している
- 県内に生息するマダニの約8割が、感染に関与する可能性がある種類のマダニである
- 西日本で多く*R.japonica*の検出報告のある、南方系のヤマアラシチマダニと台湾ンカクマダニが、患者発生地域で生息している
- これらのマダニの生息範囲が拡大傾向にある

考察

【日本紅斑熱患者が発生する可能性のある場所】

- 過去に患者が発生した場所
- ヤマアラシチマダニやタイワンカクマダニが生息する場所
- 上記以外のマダニが生息する場所

- ・マダニの分布や患者の発生状況について引き続き注視していく必要がある
- ・日本紅斑熱以外のマダニ媒介感染症もあることから、県民に対し感染予防及び早期受診の啓発を行っていく